

弾道ミサイル発射によるJアラート緊急情報発信時の対応について

1 在校中の場合

- (1) 学校活動を中断する。
- (2) 「日本の上空をミサイルが通過し、領域外に出た」や「日本の領海外へ落下した」との情報が発信された場合は、学校活動を再開する。
- (3) 「日本の領土・領海内へ落下した」との情報が発信された場合は、安全が確認できるまで校内の安全な場所で待機し、安全確認ができ次第、学校活動の継続等を行う。
- (4) その後の対応については、学校ホームページ、学校から「Classi」で配信・電話連絡等で保護者に伝える。

2 登校前の場合

- (1) 自宅待機（登下校中はその場で避難行動をとる）とする。
- (2) 「日本の上空をミサイルが通過し、領域外に出た」や「日本の領海外へ落下した」との情報が発信された場合は、自宅待機を解除し、速やかに登校すること。
- (3) 「日本の領土・領海内へ落下した」との情報が発信された場合は、自宅待機を継続する。
- (4) その後の対応については、学校ホームページ、学校から「Classi」で配信・電話連絡等で保護者・生徒に伝える。

